

11月28日環境防災科1年の「災害と人間」の授業で、認定NPO法人日本レスキュー協会から高橋さんと三枝さんが来られ、



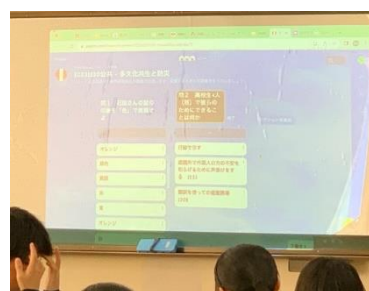
災害救助犬について話をされました。デモンストレーションでは、災害救助犬の訓練に関することや指示の出し方など実際の災害現場での重要なポイントを聞かせていただきました。トレーナーの指示をしっかりと聞けないと災害現場で犬が被災者を捜せない状況になりますので、トレーナーが離れても指示が通るように訓練されていました。「お座り」の指示の後離れていき、離れた場所から声をかけるとトレーナーの元に走ってくる様子はしっかりと訓練されていることが伝わってきました。この信頼関係を築くのに時間がかかると思いますが、私たちの知らないところでそういった訓練を続け、万が一の時に備えていると思うと、感謝しかありません。生徒たちもそういったことを目の当たりにして感じるものはあったと思います。ありがとうございました。

神戸新聞朝刊の神戸版には25日と29日に本校の記事が掲載されていました。25日は「女性に対する暴力をなくす運動」で垂水署員と共にチラシやティッシュを配布したという内容で、2年寺川さんのコメントも掲載されていました。29日は、先日行われた創立50周年記念式典の記事で本校職員が撮影した写真と共に掲載されていました。このような記事は学校に関心を持ってもらう良い機会となります。今後も本校教育活動が掲載されるよう地域への働きかけを進めていきたいと思っています。ありがとうございました。

神戸新聞朝刊の神戸版には25日と29日に本校の記事が掲載されていました。25日は「女性に対する暴力をなくす運動」で垂水署員と共にチラシやティッシュを配布したという内容で、2年寺川さんのコメントも掲載されていました。29日は、先日行われた創立50周年記念式典の記事で本校職員が撮影した写真と共に掲載されていました。このような記事は学校に関心を持ってもらう良い機会となります。今後も本校教育活動が掲載されるよう地域への働きかけを進めていきたいと思っています。ありがとうございました。



11月30日1校時、1年5組と6組合同の公共の授業で益田先生が夏季休業中にペルーへ研修に行かれた際にそこで出会った本校32回生環境防災科卒業の石田さんと回線をつなぎ、多文化共生と防災というテーマでワークショップを行いました。ペルーはその時29日19時7分ということで14時間の時差があります。前回の授業でもペルーの紹介をこの形式でされたようで、海外とつながっての授業はなかなか見ることがなかったのでとても新鮮でした。「日本に来ている外国人が地震で避難しなければならなくなったとき、高校生4人で何ができるか」という問いに生徒たちは班で話し合った内容を自らのタブレットに打ち込み、それがそのまま表示される形で意見を共有することができます。その回答に対して、石田さんから幾つかの班が詳しい説明を求められました。「言葉が通じないのでジェスチャーで伝えたり、一緒に行動したりしてあげる」「ストレス解消のために踊る」「外国人専用のスペースを作る」「その国の食事を作って一緒に食べる」「ピクトグラムを作成し伝え方を考える」など寄り添う意見が多数出ました。私たちが海外で地震に遭ったときにどうして欲しいかを考えるとより明確な答えは出てきそうです。「一緒に〇〇する」「安心できる場所や文化を共有する」というのがキーワードになると石田さんはおっしゃっていました。班の構成を5組と6組が混ざるようにしたので、普段環境防災科で学ぶ6組がリードしながらも、色々な視点で発言する5組の生徒の意見に耳を傾けるなど、お互いの協力体制も構築され良かったと思います。授業の空いている時間を使って協力していただいた先生方のおかげでスムーズにタブレットやICT機器を使っての授業ができていました。ありがとうございました。



1年で一番昼の時間の短くなる冬至(12月20日前後)が近づいてきました。まだまだ寒くなる中、来週からは期末考査です。体調を整え2学期のまとめをしっかりとやっていきましょう。

1年で一番昼の時間の短くなる冬至(12月20日前後)が近づいてきました。まだまだ寒くなる中、来週からは期末考査です。体調を整え2学期のまとめをしっかりとやっていきましょう。